

裸麦の利用の可能性について



株式会社松山丸三
代表取締役社長 岡内 正

会社案内

株式会社 松山丸三

松山丸三は、おいしい笑顔をつくる
パートナーでありたい。



代表あいさつ

モノではなくコトを売る発想力を大事に

創立以来、70年余り。実績と信頼を積み重ね“今”を築いてきました。地域の食文化は地域の大切なソフトウェアだと考えています。その地域の食文化の発展へ貢献こそが社の使命と確信しています。そのためにはモノだけではなくコトを提供できるしなやかさがが必要です。今後もスタッフの進化を基本として情報やアイデア、経験や技術、商品やサービスやコンテンツなど、あらゆる会社のソリューションを進化させてゆきます。わが社のフィールドの中心は四国ですが、私たちの取り組みは、日本全国への発信を目指します。毎年多くの全国的な展示会にもオリジナルマシンやオリジナル商品を出展しています。



matsuyama
marusan

愛媛県産農作物に付加価値向上の可能性はあるか？

－ 国内NO.1の収穫を誇る「愛媛県産はだか麦」の利用拡大手法の研究 －



岡内 正

はだか麦PJ発足（令和3年8月）

第1回：令和3年8月7日 エヌズキッチン&ラボにて開会

プロジェクトの概略

愛媛県が生産高日本一の「はだか麦」。「はだか麦」のマーケティングにお役立ちできる事はないだろうか、から始まりました。今までも今までもケーキ店で「ハダカムギロールケーキ」パン店で「ハダカムギパン」菓子店で「ハダカムギセンベイ」などとはだか麦のお菓子やパンの商品開発は行われており、成果を出しています。このプロジェクト（PJ）では 特に「お土産菓子」や「ギフト菓子」「機能性菓子」に注目し、商品開発や試作を進める事としました。

プロジェクトの参考事例

栃木県の「大麦工房ロア」さん（2009年6月設立従業員数260名売上高42億円（2022年4月実績））
「まちおこし・人づくり、映画動画TV出演、SNS、通販など」時流に乗った戦略は大変参考になると考えます。

大麦工房ロアさん：地元産の大麦にこだわった菓子製造・トレンドしっかり

大麦ダック
ワーズ
大ヒット



ひとづくり
まちづくり
地元愛SNS



機能性
美容
ダイエット



通販

広い商品群
しっかりPR

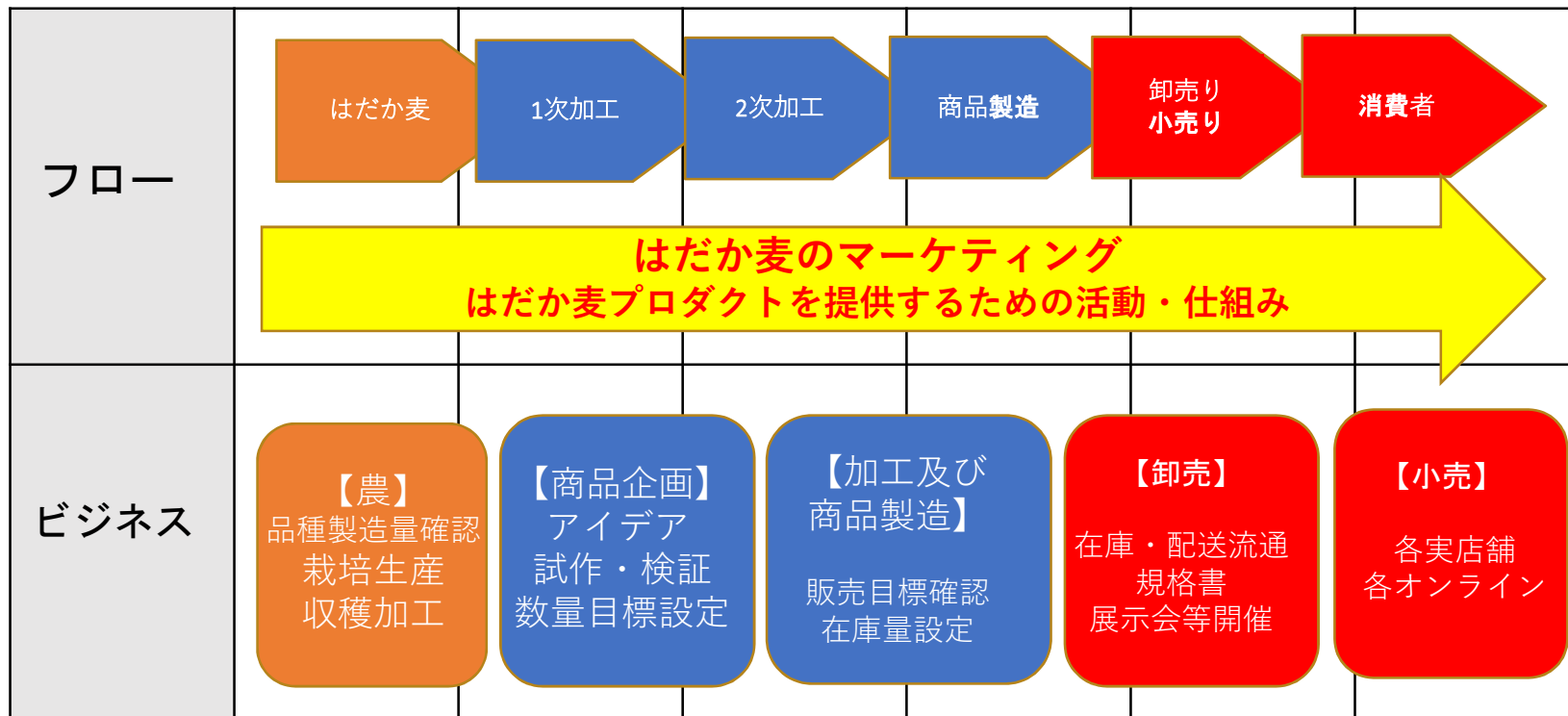


はだか麦PJの背景目的とイメージフロー

はだか麦PJの背景目的：愛媛のはだか麦に注目し、はだか麦の特徴を生かしたギフト菓子や食品を生産、試作、製造、流通、PRする

PJの背景：

- ① 令和3年8月1日愛媛大学農学部ハダカムギ研究開発センターが稼働開始。
→TILLING法を活用し、用途に適したハダカムギ製造が可能に。
- ② 愛媛県は31年連続ハダカムギ生産高日本一（全国シェア40%）
- ③ ハダカムギは水溶性食物繊維β-グルカン、ビタミン、ミネラルが多く含有。
整腸作用や生活習慣病、認知症などの予防効果が認められている。
- ④ ハダカムギを使った「ギフト菓子」が愛媛に無い。



はだか麦PJ・商品試作開始（エヌズキッチン）

商品開発（令和3年8月8日）

• **カステラ**の試作（台湾カステラ、はだか麦100%台湾カステラ）：**本日試食有**

少し調整必要ですが、まあまあ普通に焼き上がりました！味もいいと思います。

• はだか麦ザクザク**スコーン**の試作：

好みもありますが、100%だと味が濃いすぎるので、50%くらいだとマイルドかもです。



商品開発（令和3年8月18日）

①押し麦、ハダカムギニブ使用の**スコーン**：**本日試食有**

麦茶を粉碎したカカオニブ風は○、ハダカムギ押し麦は×△



はだか麦PJ・はだか麦ミール試作開発（ホクヨ）

そのまま食べれる**はだか麦ミール**
【**オルジュヌミール**】



（エヌズキッチン）オルジュヌブランド試作継続中

チュイル

スコーン

クッキー



カステラ

サンド
クッキー

スープ

はだか麦ミール、はだか麦粉を使った
【ギフト菓子】量産化試作開発

※1個当たり食物繊維量などを表示すると、美へ訴求可能（垣原先生）



クッキー
丸



クッキー
小判



バー

食のトレンドとはだか麦

【食のトレンド】
サスティナビリティ
環境負荷低減
エシカル消費
健康・予防
体内美容
ヴィーガン
プラントベース

【はだか麦の特徴】
低コレステロール
食物繊維豊富
植物性食品
地元が最大の生産地



【方向性】
はだか麦はトレンドに
乗れる。
消費者には美と健康
地元には地域づくりひと
づくりを意識した商品開発
とマーケティング。



あなたは何にします？
食べたい気分に合わせて
選べるおいしさ！



ポッカサッポロフード&ビバレッジ・プラントミルク事業 植物性素材の可能性追求

2021.02.26 12:19:03



大塚洋雄レモン・プラントミルク事業本部長

同社の「プラントミルク」事業は、20年度（1～12月）累計で約36億円（前年比149%増）と伸長した。健康意識の高まりや植物性商品の需要を受け、「豆乳ヨーグルト」は同20%増、「アーモンドミルク」は、同60%増と両カテゴリーとも拡大した。



「プラントミルク」事業製品群

18日に開催した発表会で、大塚洋雄レモン・プラントミルク事業本部長は「コロナ禍以降、本質的価値が選ばれる時代が加速している。生活者の役に立つなど、企業と生活者が対話し融合しながら、取り組む必要がある。同事業は、健康素材に立脚していることから、『健康』を大切にしていきたい」と語った。

成長市場の豆乳ヨーグルト市場で57%



News Release

2022年3月25日
株式会社ADEKA

ADEKA、プラントベースフードブランド「デリブランツ」を展開 ～「おいしいプラントベースフード」を食卓のあたり前に～

株式会社ADEKA（代表取締役社長：城田 秀雄）の食品事業「RISU BRAND」は、「おいしい」と「健康的」にこだわった、プラントベースフードのデリブランド「デリブランツ（Delibranz）」シリーズを食卓のあたり前に展開します。第一弾として、国産のプラントベースフード（豆乳・アーモンド）を原料とする「豆乳ヨーグルト」製品（国産豆乳・アーモンド、アーモンド・アーモンド）を4月1日より順次展開いたします。

ADEKAは、「デリブランツ」シリーズによって、食卓のあたり前に「おいしいプラントベースフード」を展開していきます。食のライフスタイルを刷新していくとともに、PBFを食品事業の新たな柱に位置づけ、2020年度にPBF分野の売上高100億円以上を目指してまいります。



※ 国産豆乳、国産大豆は、国産豆乳・国産大豆の原料に植物性油脂を配合している「国産豆乳（プラントベース）」と表示しています。

（2021年3月現在）



はだか麦をオルジュヌでブランディング

食べる美と健康は愛媛の自然の恵みから。
美味しい自然オルジュヌ！



※はだか麦＝オルジュヌ（エヌズキッチンさんが発案）
オルジュヌ（ORGE NUEはフランス語ではだか麦）

（使用例）

オルジュヌパウダー
オルジュヌミルク
オルジュヌミール
オルジュヌカステラ
オルジュヌスープ
オルジュヌクッキー
オルジュヌベーグル

などなど



※はだか麦粉の袋イメージ



本日の展示商品：

オルジュヌミール
オルジュヌクッキー
オルジュヌスコーン
オルジュヌベーグル
オルジュヌバー
大麦β—グルカン顆粒

①はだか麦情報の拡散と商品開発加速化

②オルジュヌネットワークの拡大

（例）ネットワークの拡大：

令和4年3月29日

JWF様、愛媛大学様と「愛媛のハダカムギを使用した商品開発プロジェクト」との会談。

アグリ、農業、加工販売それぞれの立場で経緯を報告。

- ・オルジュヌミール等のお披露目
- ・オルジュヌバー等のお披露目
- ・その他情報交換

等を行った。

（例）展示会（関東）への出展：

- ・ MOBACSHOW2023

（幕張メッセ2023.2/28-3/3）

（例）商品開発加速化

- ・ 本日の展示ブースにぜひお立ち寄りくださいませ。

ご清聴ありがとうございましたm(_ _)m



株式会社松山丸三
代表取締役社長 岡内 正